縁（ゆかり）Ⅲ NO.１	R7.４.９（水）	文責　坂本英明
学校教育目標　【自ら考え、判断し行動する子どもの育成】 重点目標 ①挨拶・返事 ②掃除・委員会係 ③服装・名札 ④時間		

令和7年度　上級生が下級生に手本を！

本校勤務3年目を迎えました、校長の坂本英明です。本年度もどうぞよろしくお願いします。

本日、１学期の始業式を迎え、飽田東小に元気な子ども達の声が戻ってきました。久しぶりに聞いた正門での子ども達の挨拶は、元気よくすがすがしいものでした。

始業式では、昨年度の卒業式式辞の一部を紹介しました。「（卒業生のみなさん＝新中学１年生は）日々の活動では、目立たなくても粛々と、他人のために自分ができることをしっかり探してくれる集団でした。その姿を、下級生（新6年生から新2年生までの児童のことです）は尊敬し、見習い、自分にできることを探し始めています。その勇姿を、後ろに控える5年生（新6年生のことです）がきっと引き継いでくれることでしょう。」

昨年度にも紹介しましたが、今の飽田東小は上級生が下級生に手本を示す、そして、下級生は上級生のよいところを見習う、ことができるようになってきています。しかし、まだ完全ではありませんので、本年度も引き続き、全職員一丸となって取り組んでいきます。

学校教育目標の共有を

本年度も学校教育目標は、「自ら考え、判断し行動する子どもの育成」です。重点目標を、「①挨拶や返事ができる ②掃除や委員会活動、係、当番など他の人のために体を動かすことができる ③服装を整え、履物を揃え、名札をきちんとつける ④時間を守る」（これを学校では、「あ・そ・ふ・じ」〈熊本を代表する阿蘇山と日本を代表する富士山をかけたものです〉と言っています）としています。

学校教育目標には、低中高学年の発達段階こそあれ、これらが「自ら考え、判断しできるようになってほしい」という願いが込められています。上記の①から④までを自ら考えてできるようになれば、それだけでも素晴らしいものです。

このことを、保護者や地域の皆様にもぜひ知っていただき、学校や家庭、地域が一丸となって、飽田東小の子ども達を育てていっていただけたらと思います。ご家庭でも、「あ・そ・ふ・じ」が自分でできるようご指導お願いします。

本年度の学校経営構想

この画面は小さいですが、学校ホームページに本年度の学校の取り組みを掲載しています。この学校便りでも説明していきます。

保護者の皆様のお力が必要になることもあると思いますので、その時はご協力お願いします。

↓↓↓飽田東小学校ホームページはこちらから↓↓↓

http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/school/e/akitahigashies/index.htm